

豊かな自然を実感

鹿沼 児童ら生きもの調査



ハス池で生きもの調査をする児童たち

【鹿沼】自分たちの地域に生息する生き物を学ぼうと、中入粟野美郷の会（小島実会長）は22日、中粟野の粟野都市農村交流館近

くのハス池で生きもの調査を行った。準絶滅危惧種の水生昆虫も見つかり、参加者は改めて豊かな自然が残っていることを実感してい

た。

同会は地区の自然環境と農地を守るため2007年に組織された。この日の調査には自治会関係者や地区の児童、子供会育成会、老人クラブなどから約100人が参加した。

夏休み初日の子どもたちは長靴を履き、手に網を持って休耕田を利用したハス池に入り、何度も網をすくった。「何かいる」「見つけた」と大はしゃぎ。粟野小6年牧島勇斗君（11）は「アメンボなどを見つけた。これまで知らなかった生き物がいっぱいいて勉強になった」と話した。

講師を務めた県自然ふれあい活動指導者の渡辺知義さん（72）は、参加者が捕

獲した魚や昆虫などを大きく5分類し、子どもたちに説明し質問を受けた。

渡辺さんは「止水池のため、予想通り多くの種類がいた。準絶滅危惧種のコオ

イムシやミスカマキリ、タコウチなど水生昆虫もたくさんいた。豊かな自然が証明されたともいえる」と話した。

（枝村敏夫）